

指導と評価の年間計画（2008・H20年度）

教科（科目）	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
物理探究	2	3		啓林館 高等学校 物理Ⅱも使用

注）2単位を週5時間授業で実施

到達目標	物理Ⅰの目標を継続し、さらに、基礎力の上に応用力をつける。 実験に取り組み、自然現象を徹底的に追及する。 進路に対応できる実力と、自信をもって問題解答に臨めることを目指す。
到達目標に向けての具体的な取り組み 【指導上の】留意点	物理Ⅰの力学の基礎基本を反復しながら、新しい項目に発展させていく。 学校情報ネットワークを利用して配信された動画を利用して身の回りの具体的な現象や最先端科学に関心をもたせ、事象の把握と公式の理解、応用に役立たせる。

月	進度（単元・章・項）	指導内容（項目／活動）	評価方法等	評価のポイント
5	力と運動 第1章 物体の運動	放物運動 運動量・力積 運動量の保存 反発係数	理解度 問題の解答力	授業の積極的な取り組み ノートの整理 解答力
6	第2章 いろいろな力と運動	円運動、単振動、慣性力、遠心力 万有引力 実習	応用力 科学的考察力 定期考査	実験・実習への取り組み 定期考査の評価
10	電気と磁気 第1章 電界と電位 第2章 電流 第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波	電界 電位 コンデンサ 電流 直流回路 磁界、磁力線、磁束密度 電流がつくる磁界 ローレンツ力 電磁誘導の法則 自己誘導、相互誘導 交流 電気振動と電磁波 実習・実験	理解度 問題の解答力 応用力 科学的考察力	授業の積極的な取り組み ノートの整理 解答力 実験・実習への取り組み
11	物質と原子 第1章 原子・分子の運動	物質の3態 気体の状態方程式 気体分子の運動 熱力学の第1法則 状態変化と熱・仕事		
12	第2章 原子と電子	電子の電荷と質量 原子の中の電子 物質中の電子のエネルギー 固体中での電子のふるまい		
1	原子と原子核 第1章 原子の構造 第2章 原子核と素粒子	光電効果、光量子 X線 電子の波動性 スピン、ボーア原子モデル、量子・振動数条件 結合エネルギー 質量欠損、核エネルギー 原子核反応 核分裂、核融合	定期考査 理解度 問題の解答力 定期考査	定期考査の評価 授業の積極的な取り組み ノートの整理 解答力 定期考査の評価